

平成26年度
学校関係者評価報告書



平成26年7月

学校法人つくば総合学院
つくばビジネスカレッジ専門学校

平成26年7月30日

学校法人つくば総合学院
理事長 片岡 均

平成26年度学校関係者評価報告について

学校法人つくば総合学院 つくばビジネスカレッジ専門学校では、本校規程に基づき、学校関係者評価委員会を実施いたしました。以下にその内容についてご報告いたします。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 日時、場所

日時 平成26年5月31日(土) 16:00～17:00
場所 つくばビジネスカレッジ専門学校 102教室

2. 学校関係者評価委員

氏名	所属等	選任区分
橋谷 征司	元茨城県立下妻第一高等学校 教頭	教育関係者
細田 哲司	丸二産業有限会社 代表取締役	地域住民
山田 梨紗	株式会社ビースタイル 常務取締役	企業勤務者
菅間 恵	つくばビジネスカレッジ専門学校 卒業生	卒業生
大里 香織	つくばビジネスカレッジ専門学校 卒業生	卒業生
片岡 均	学校法人つくば総合学院 理事長	学校関係者
長峰 一男	つくばビジネスカレッジ専門学校 校長	学校関係者
長瀬 剛夫	つくばビジネスカレッジ専門学校 副校長	学校関係者

3. 委員会次第(概要)

- (1) 開会
- (2) 理事長挨拶
- (3) 学校評価に係る経緯説明
長峰委員より、学校評価の目的や必要性について説明があり、今回の報告を受けてご意見や感想を頂き、問題点の改善策立案の参考にさせて頂く旨説明があった。
- (4) 平成25年度自己点検・評価報告
長瀬委員より、平成25年度の事業報告、自己点検・評価報告書について、各項目の達成度や取り組み状況、今後の改善点について報告がなされた。
- (5) 討議・意見交換(詳細は後述の通り)
各委員から、自己点検・評価報告書に関するご意見やご感想を頂いた。
- (6) 閉会

4. 討議・意見交換について

平成25年度の自己点検・評価報告に基づき、達成状況に関する意見等も含めて、法人や学校に対して要望等を含め、次のような貴重なご意見を頂きました。

	評価項目	自己点検・評価についてのご意見・ご感想など
1	教育理念・育成する人材像	教育目標に掲げる”国際感覚を養う”箇所については、英会話の科目を取り入れたり、海外研修旅行を継続して実施している点では、評価はできるが、達成度が明確でなく、改善が必要ではないか。
2	教育の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会においては、企業関係者からの参加は一部の分野になっているので、今後、他の学科についても企業関係者の参画を検討するべきである。しかしながら、企業や団体からの講師の派遣や編集社との提携、教材、検定試験の提供、研修の依頼などにより、連携を深めていることは評価できる。 ・医療事務やプライダル分野においては、企業・医療機関様のご協力により、インターンシップが実現できており、就職活動をする上で、ミスマッチも少なくなってきたが、他の分野についても協力して頂ける企業様を探して実施できないものだろうか。 ・各分野の知識・技術の習得は勿論であるが、最近では、挨拶が出来ない学生が多く見受けられるので、人間性の部分の教育に力を入れて欲しい。 ・教員の質の向上及び授業技術の平準化を図るため、教員研修は、計画的に、階層別、分野別を実施してもらいたい。 ・授業アンケートの他に保護者向けのアンケートを実施していることは評価できる。しかし、結果をきちんとフィードバックして具体的改善策を策定するところまで、今後はお願いしたい。
3	教育の実施体制	学生の共有するスペースが不足している。また図書コーナーの設置も必要とされるが、現状の施設では厳しいそうである。
4	教育目標の達成度と教育効果	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀校表彰されている分野もあるが、学力低下が進む中においては、学生全体の底上げを図らなければ、最終的な就職に結びつかなくなる。学生間の学力差も大きくなることから、より一層先生方の個別対応への時間が取られ、高資格実績に影響を及ぼさないか心配である。細やかな対応により、保護者の信頼も厚くなっていくと感じる。 ・退学者については、様々な理由があるが、学校経営に直接影響が出てくるため、退学者を減らす対策や細かい指導が必要と感じる。
5	学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時、在学中の学費免除制度、奨学金制度の整備は充実している。今後、正式な学費減免規程の明文化が必要とされる。 ・精神的な問題を抱える学生が増えてきており、教員もその対応に疲弊しているようである。非常勤でよいので、スクールカウンセラーの導入を検討してはどうか。 ・就職後3年までの離職率も高まってきているため、卒業生のフォロー体制を確立するか、同窓会の設立を検討してはどうか。
6	社会的活動	つくば市や地域イベントにおいて積極的に参加して欲しい。牛久市教育委員会との提携によるポスター制作や土浦市観光協会の冊子制作については、評価できる。
7	管理運営	先般の東日本大震災においては、学校備品も被害を受けているので、今後は、災害に対応するマニュアルが必要とされる。また学生の安全確保が第一となるよう危機管理にも更に取り組むべきである。
8	財務	全職員がコスト意識を持って無駄をなくすことに努力してもらいたい。
9	改革・改善	施設不足の慢性化により、今後学科コースの改編の必要性が生じた場合、対応ができなくなる。財務に関わることだが、中長期的計画に校舎増設も視野に入れてはどうか。